



# 2021年10月期決算説明資料

2021年12月24日

のむら産業株式会社（証券コード 7131 東証JASDAQ）

**NOMURA**

# 目次

- I 会社概要・事業概要
- II 2021年10月期 決算概要
- III 2022年10月期 決算見通し
- IV 成長戦略
- V その他

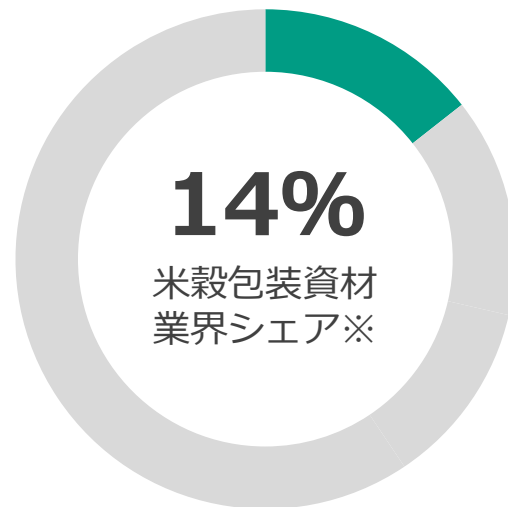
# I 会社概要・事業概要

---

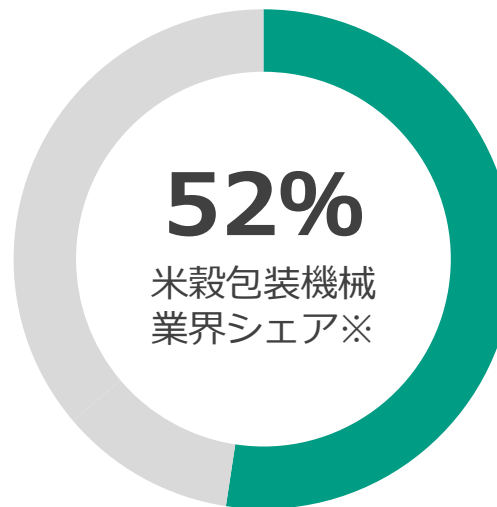
# のむら産業とは

米穀包装資材・機械をワンストップで企画・販売しているトップランナー

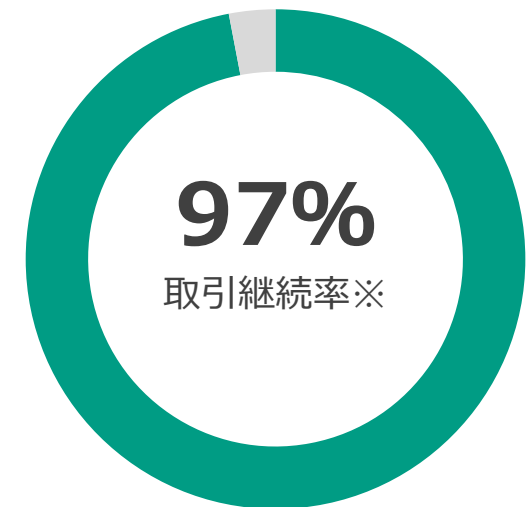
人々のライフスタイルの変化に対応し「包む」をキーワードに事業領域を拡大中



※農林水産省「米をめぐる関係資料」  
(2020年7月公表データ)  
に基づき当社推定



※有価証券報告書等各種データより当社  
推定2020年データ



※中期的な継続率の判断材料として  
2014年10月期の顧客が2019年10月期、  
2020年10月期に当社と取引があった  
顧客ベースで算出

# 会社概要

会社名	のむら産業株式会社
設立	1965年11月
会社所在地	東京都東久留米市前沢5丁目32番23号
代表者	代表取締役社長 清川 悦男
資本金	80,000,000円
決算期	10月
発行済株式数	1,546,250株（自社株含む）
従業員数	107名（平均臨時雇用人員含む） ※21/10/31時点(連結)
連結子会社	パックウェル株式会社 山葉印刷株式会社
監査法人	EY新日本有限責任監査法人
事業内容	<p>&lt;包装資材部門&gt; 米穀精米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売</p> <p>&lt;包装機械部門&gt; 米穀用自動計量包装機を中心として計量包装機械の企画開発及び製造販売</p>

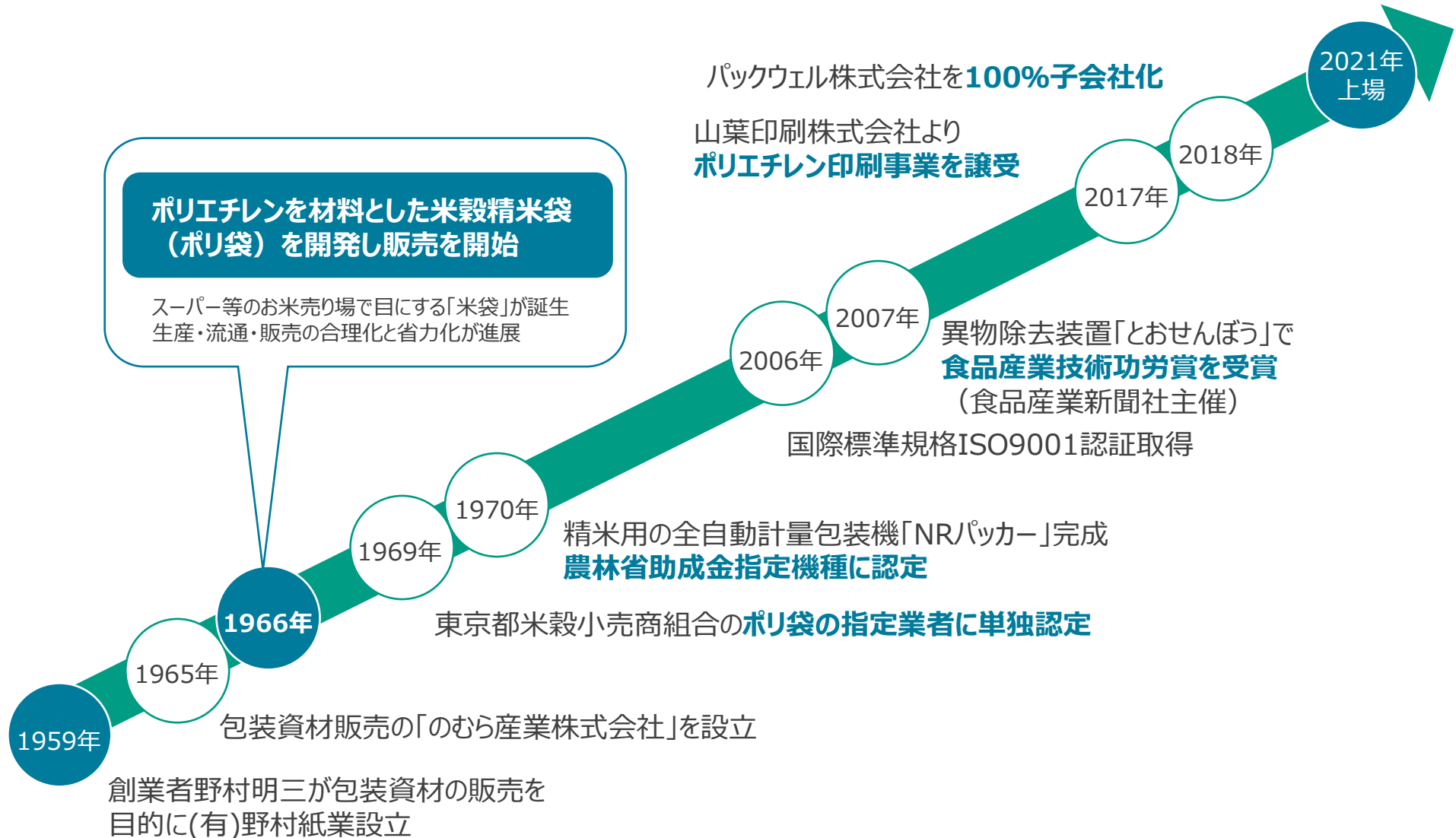
## 経営理念

「人に優しい新技術」をモットーに、  
常に使う人の身になっての商品づくりに努め、  
お取引先の皆様とのビジネスを通じて社会  
に貢献していきます



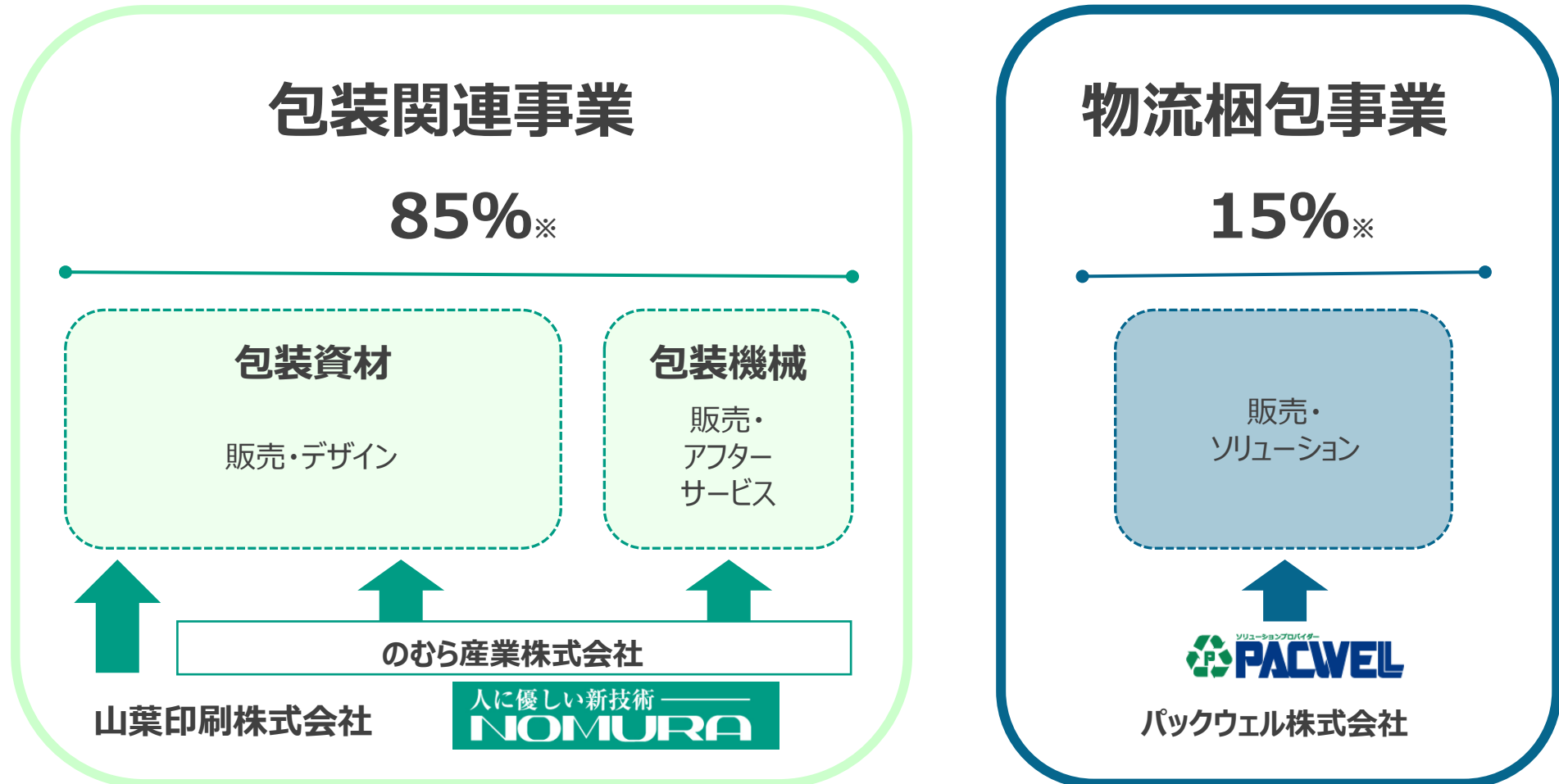
## 沿革

## 設立56年の米穀包装資材・機械のパイオニア 更にM&amp;Aにより事業領域を拡大



# 事業概要：セグメント

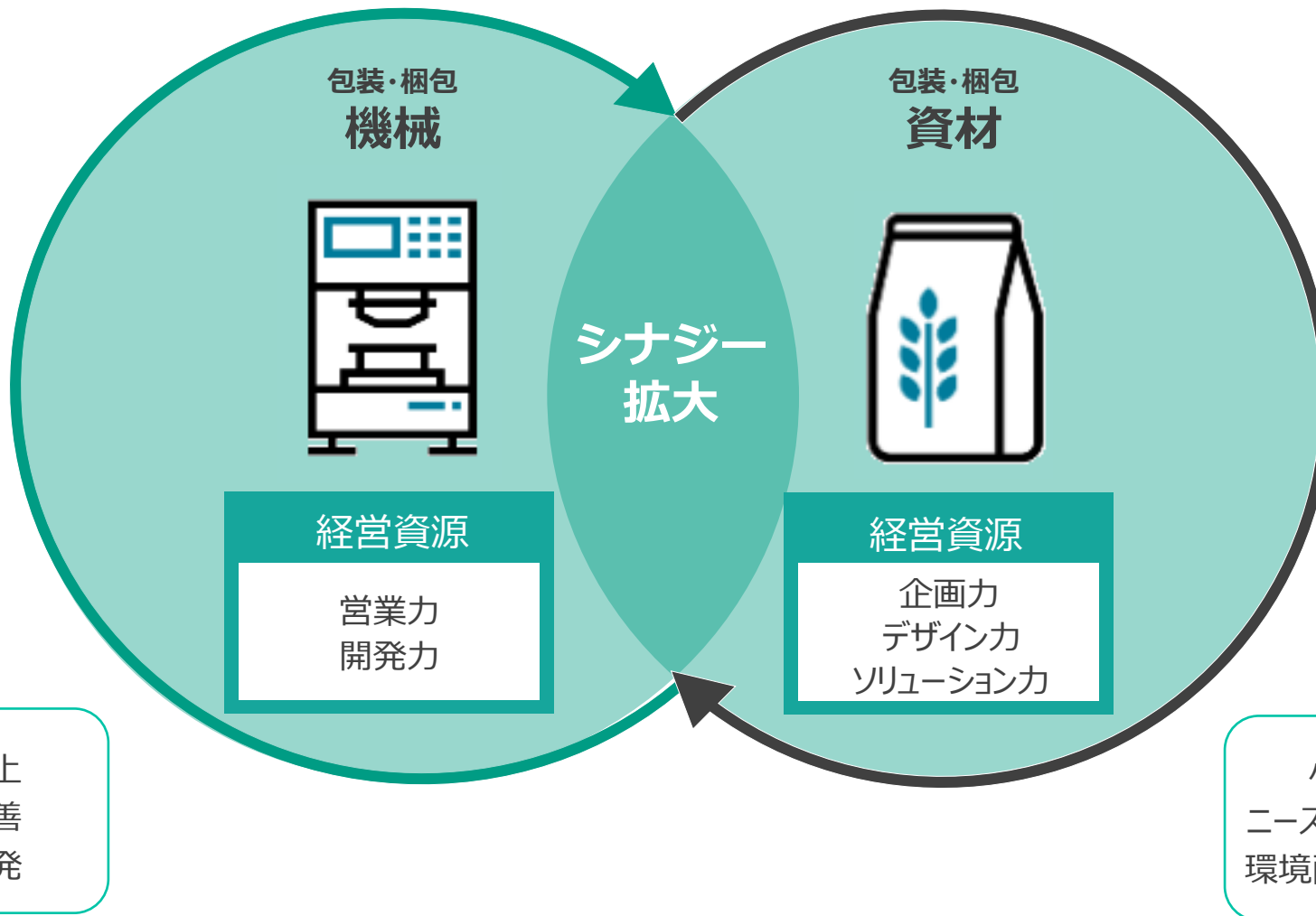
当社グループはBtoBを中心とした2つのセグメントで構成



※ 2021年10月期売上構成比

# 事業概要：当社の特徴

機械と資材の両方を手掛けることでシナジーを創出し、安定的かつ継続的に収益を拡大





# 事業概要：包装関連事業（包装資材）

## 米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売

### 調査／ マーケティング

市場調査・データ分析による  
時事に合ったトレンドを発掘



### 販売／納品

様々なパッケージやラベルの製品



オリジナル米袋

チャック付サイドガゼットロール  
GZR

### 設計&デザイン

要望に合ったベストなプラン  
& デザインをご提供



環境配慮型米袋

# 事業概要：包装関連事業（包装機械）

## 米穀用自動計量包装機を中心として計量包装機械の企画開発及び製造販売

### 計量機と包装機が一体化しているのが最大の特徴

	パーセル NMP-15H	インテリジェントパッカー ネオス DSR-110	スーパーインテリジェント パッカー SIP-110	ネクサス NX-180R
製品				
性能	±2gの計量精度と 11回/分（5kg計量時）の能力	1基の計量機で 10袋/分（5kg時）の包装能力	計量機2連搭載	3基の計量機で高速化を実現
操作性	フンタッチの秤量変更と計量回数 のプリセット機能搭載	サイドグリップ方式で 確実に袋を保持	各機構部をユニット化し清掃・調整・メンテナンスが容易	
その他	小スペースで設置可能な コンパクトサイズ	省エネ性能で、エアー消費量、 電力消費量を削減	バーコードの読み込みだけでフィルムサイズ、計量値、 シール設定、印字位置等を自動型替え可能	
標準価格※	240万円	1,550万円	2,450万円	4,150万円

※標準価格には、オプション等の価格は含まれておりません。

# 事業概要：包装関連事業（包装機械）

顧客ニーズに適した様々な包装機械・オプションなども企画・開発

異物除去機			集積包装機	
				
糠玉取機（とおせんぼう）			フレキシブルミニサッカー MS-5000H1・H2	フレキシブルオートサッカー FAS-2010BP
標準価格：235万円～350万円			標準価格：1,150万円	標準価格：3,750万円
給袋式自動計量包装機			チューブロール袋用包装機	
				
NRP-6	ジャスティーン NKC-01A	ジャスティーン NKR-01A	PLN-400	
標準価格： 2,450万円	標準価格： 700万円	標準価格： 480万円	標準価格：1,800万円	

# 事業概要：物流梱包事業

物流におけるパッケージ現場の問題解決策の提案や海外の優れた製品・資材を輸入・販売

## 包む

大切なモノを  
優しく包む

- エアー包装材システム
- 紙緩衝材システム
- 発泡緩衝材システム

### ワレモノ専用包装材



ワインボトルや薬品ボトル等、守りたい商品の形状にフィット

### エアー包装材システム



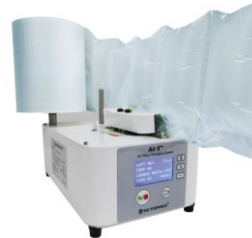
フィルムに空気（エア）を注入して袋状の緩衝材を高速で製造するシステム

## 埋める

大切なモノの  
隙間を埋める

- エアー緩衝材システム
- 紙緩衝材システム
- 発泡緩衝材システム

### エアー緩衝材システム



簡単操作でフィルムを縦置きにすることで最小のスペースを実現（環境にも優しいバイオフィルム）

### 紙緩衝材システム



脱プラの風潮に適した緩衝性能の高い紙パッドタイプの緩衝材システム

## 封をする

大切なモノを  
運ぶため封をする

- 封かん・製函機
- ガムテープ繰出し機
- その他オプション

### 封かん・製函機



段ボールケースの上下面をテープ貼りする自動封かん機



箱詰め作業のためにケースを支える半自動調整型製函機

## II 2021年10月期 決算概要

---

## 業績動向

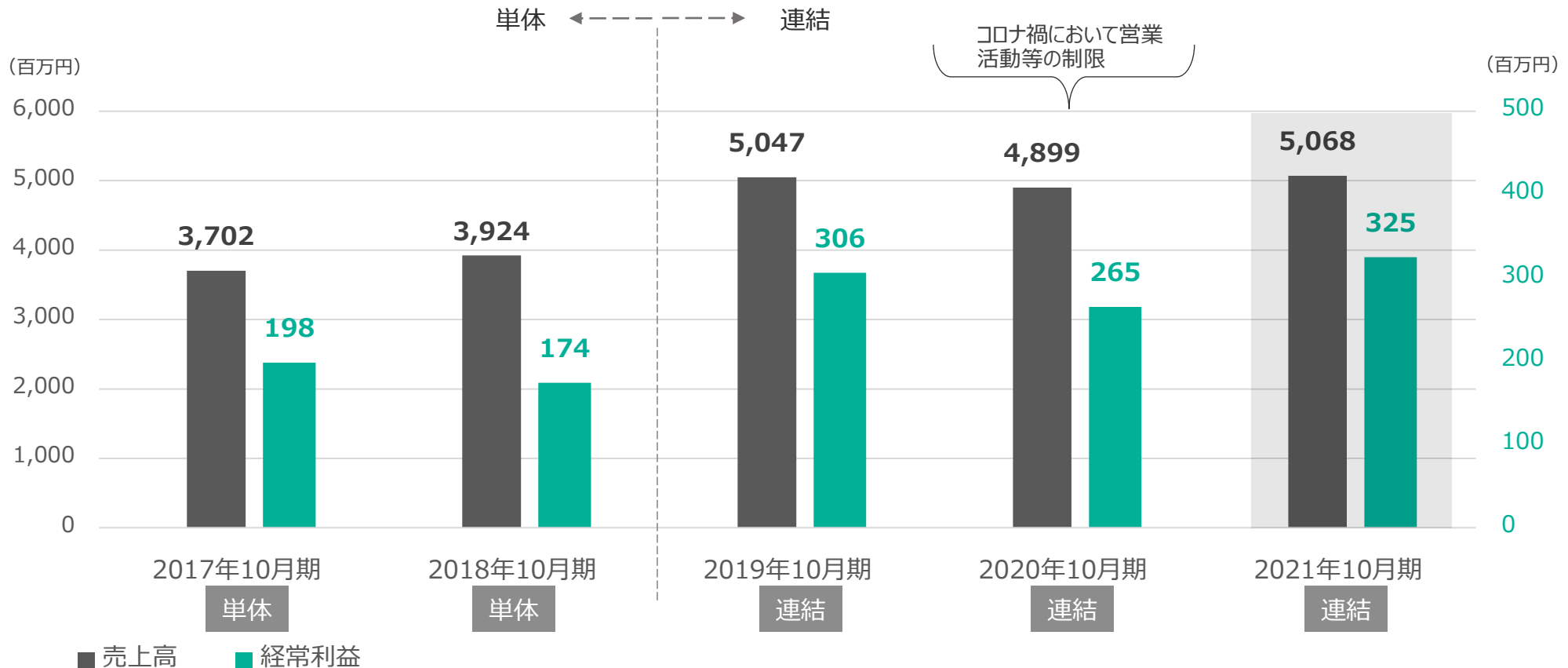
## 2021年10月期は、増収増益でコロナ禍影響前の業績を上回る

## 包装関連事業

コロナ禍においても家庭用向けの包装資材販売及び計量包装機販売が牽引し、売上高・セグメント利益は堅調に推移

## 物流梱包事業

コロナ禍においても製造業等からの需要の回復及び消費者のネット購入拡大を追い風に売上高・セグメント利益は好調に推移



## 連結決算概要

新型コロナウイルス感染症が拡大したものの、売上及び営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において前期値、計画値を上回る結果となった。

	20/10期	21/10期		前期比		計画比	
	実績 (百万円)	計画 (百万円)	実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	4,899	5,042	5,068	169	3.5	26	0.5
売上総利益	1,243	1,333	1,269	26	2.1	△64	△4.8
営業利益	265	310	317	52	19.7	7	2.1
営業利益率	5.4%	6.1%	6.2%	0.8P	-	0.1P	-
経常利益	265	306	325	59	22.4	18	6.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	55	188	205	150	274.1	18	9.4
1株当たり当期純利益 (EPS)	39.45 円	134.95 円	147.58 円	108.13 円	274.1	12.63 円	9.4

## セグメント別決算概要（売上高・営業利益）

## 【売上高】

(単位：百万円)

セグメント	20/10期	21/10期	前期比	増減率 (%)	概要
包装関連事業	4,180	4,322	142.2	3.4	新型コロナウイルス感染症の流行拡大により業務用向け販売は外食店の需要減などにより減少した一方、巣ごもり需要の増加などで家庭用向け販売は堅調であったため増収
物流梱包事業	721	750	28.3	3.9	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている製造業等で物流梱包関連商品の需要の回復が見られ、消費者のネット購入拡大の需要も堅調だったことから増収
調整額	△ 2	△ 3	△ 1.1	—	セグメント間売上
合計	4,899	5,068	169.5	3.5	各セグメントの増収により、前期比169百万円の増収

## 【営業利益※】

(単位：百万円)

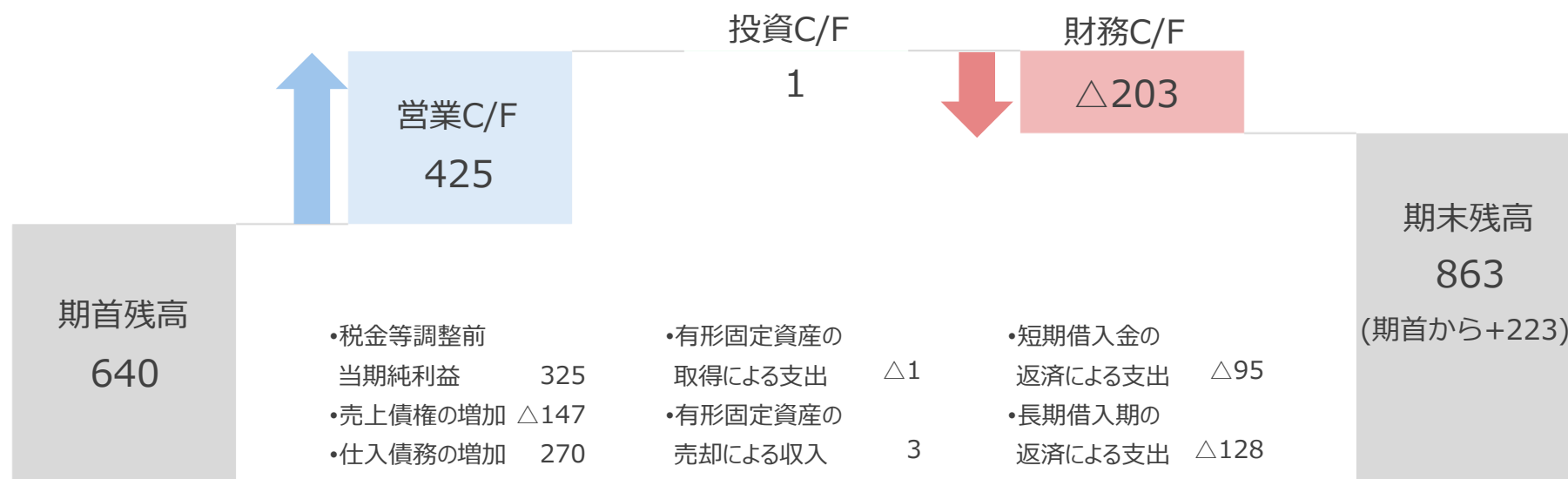
セグメント	20/10期	21/10期	前期比	増減率 (%)	概要
包装関連事業	308	310	1.8	0.6	増収による増益
物流梱包事業	△ 44	7	50.3	—	増収及びのれん償却費の減少による増益
合計	265	317	52.1	19.7	各セグメントの増益により、前期比52百万円の増収

※セグメント別の営業利益は、のれん償却費及び販管費等の配賦等を調整したセグメント利益を記載しております。



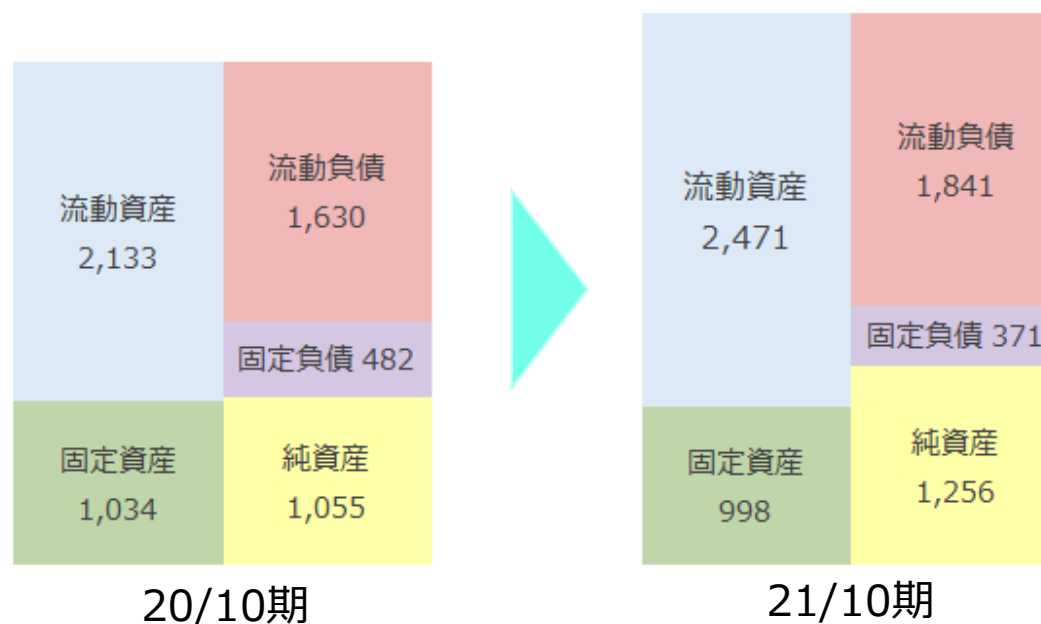
## 連結キャッシュフロー

	20/10期 (百万円)	21/10期 (百万円)	増減額 (百万円)	主な増減要因
営業C/F	△ 121	425	546	税金等調整前当期純利益の増加 162 減損損失の減少 △102 仕入債務の増加 453
投資C/F	△ 11	1	12	有形固定資産の取得による支出減少 9 有形固定資産の売却による収入増加 3
財務C/F	△ 234	△ 203	31	短期借入による収入増加 49 短期借入金の返済による支出増加 △45 配当金支払額の減少 25
期末残高	640	863	223	



# 連結財政状況

	20/10期 (百万円)	21/10期 (百万円)	増減額 (百万円)	主な増減要因
総資産	3,167	3,469	302	現金及び預金の増加223、第4四半期の売上が好調だったことによる売上債権の増加147による
負債	2,112	2,212	100	計量包装機の生産に伴う仕入債務の増加271、返済による借入債務の減少174による
純資産	1,055	1,256	202	親会社株主に帰属する当期純利益の獲得205百万円による



## III 2022年10月期 決算見通し

---

## 2022年10月期 決算見通し

新型コロナウイルス感染症の影響で不透明な経済環境が続くと見込まれる状況下、  
 コロナ禍の21/10期でも安定した業績で推移しており、今後緩やかに回復するものと想定し、  
 22/10期は、前期比で売上3.8%増、営業利益5.7%増と増収増益の見通し

	21/10期(実績) (百万円)	22/10期(見通し) (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,068.3	5,260.0	191.7	3.8
売上総利益	1,269.1	1,384.0	114.9	9.1
営業利益	316.6	334.6	18.0	5.7
営業利益率	6.2%	6.4%	0.2P	-
経常利益	324.7	331.4	6.7	2.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	205.4	206.6	1.2	0.6
1株当たり当期純利益 (EPS)	147.58 円	148.46 円	0.88 円	0.6

## 2022年10月期の取り組み

2022年10月期では主に下記の様な取り組みにより、持続的な企業価値の向上を図る

包装関連事業	包装資材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差別化した製品・サービスの拡販による、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕によりシェア拡大</li> <li>・ 商品力（コスト、スピード、品質）の向上と安定供給により、新たな顧客作りに繋げる</li> </ul>
	包装機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械部門を強化し、品質強化と生産能力を拡大</li> <li>・ 顧客ニーズに対応した機械の改善・改良により、設備導入の潜在需要を掘り起こす</li> </ul>
	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差別化した製品を広めることにより、西日本での収益の拡大を図る</li> </ul>
物流梱包事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脱プラの風潮に沿った紙緩衝材の販売強化</li> <li>・ 脱プラの風潮に沿ったエア緩衝材のリサイクル商材の拡販</li> <li>・ 紙製業務用ガムテープの拡販、ガムペーパーの商品開発</li> </ul>
新規事業 新規市場		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米穀業界で培ったノウハウ・ナレッジ等を活用し、米穀業界以外での市場を開拓・強化</li> </ul>

## セグメント別決算見通し（売上高・営業利益）

## 【売上高】

(単位：百万円)

セグメント	21/10期 (実績)	22/10期 (見通し)	前期比	増減率 (%)	概要
包装関連事業	4,322	4,480	157.9	3.7	既存顧客の深耕、新規顧客の開拓、西日本市場への拡販等により、増収見通し
物流梱包事業	750	780	30.4	4.1	紙緩衝材の販売強化、エア緩衝材のリサイクル商材の拡販等により、増収見通し
調整額	△3	0	3.4	-	セグメント間売上
合計	5,068	5,260	191.7	3.8	各セグメントの増収により、前期比191.7百万円の増収見通し

## 【営業利益※】

(単位：百万円)

セグメント	21/10期 (実績)	22/10期 (見通し)	前期比	増減率 (%)	概要
包装関連事業	310.0	319.7	9.8	3.1	仕入価格の値上げ基調、販管費等の増加を見込んでおりますが、増収見通しであること及び仕入価格の値上げ基調圧縮、製造原価の改善等の施策を行うことにより、増益見通し
物流梱包事業	6.6	14.9	8.2	123.8	販管費等の増加を見込んでおりますが、増収見通しにより、増益見通し
合計	316.6	334.6	18.0	5.7	各セグメントの増益により、前期比18百万円の増益見通し

※セグメント別の営業利益は、のれん償却費及び販管費等の配賦等を調整したセグメント利益を記載しております。

## 株主還元

◆基本方針	株主還元は経営上の重要な課題と認識しており、事業拡大に必要な内部留保とのバランスを図りながら安定的かつ継続的な配当を実施	
◆連結配当性向目標	25%程度	
◆年間配当金	2021年10月期	29円
	2022年10月期(予想)	37円

	19/10期	20/10期	21/10期	22/10期 (予想)
年間配当金※	650円/株	8円/株	<b>29円/株</b>	<b>37円/株</b>
連結配当性向	20.0%	20.3%	<b>19.7%</b>	<b>24.9%</b>

※2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、1株当たりの年間配当金につきましては当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

## IV 成長戦略

---

新規分野への展開を成長ドライバーに持続的成長目指す



## 市場環境認識

## 包装資材の脱プラスチックシフト・EC市場は高成長続く

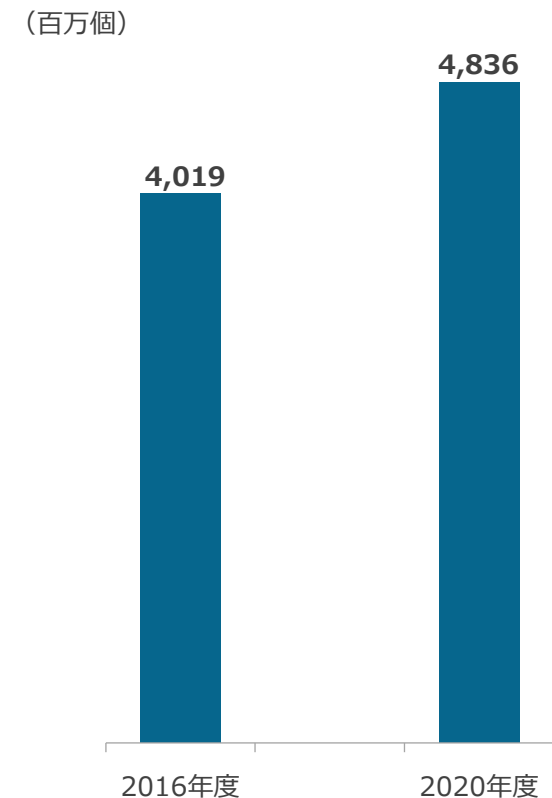
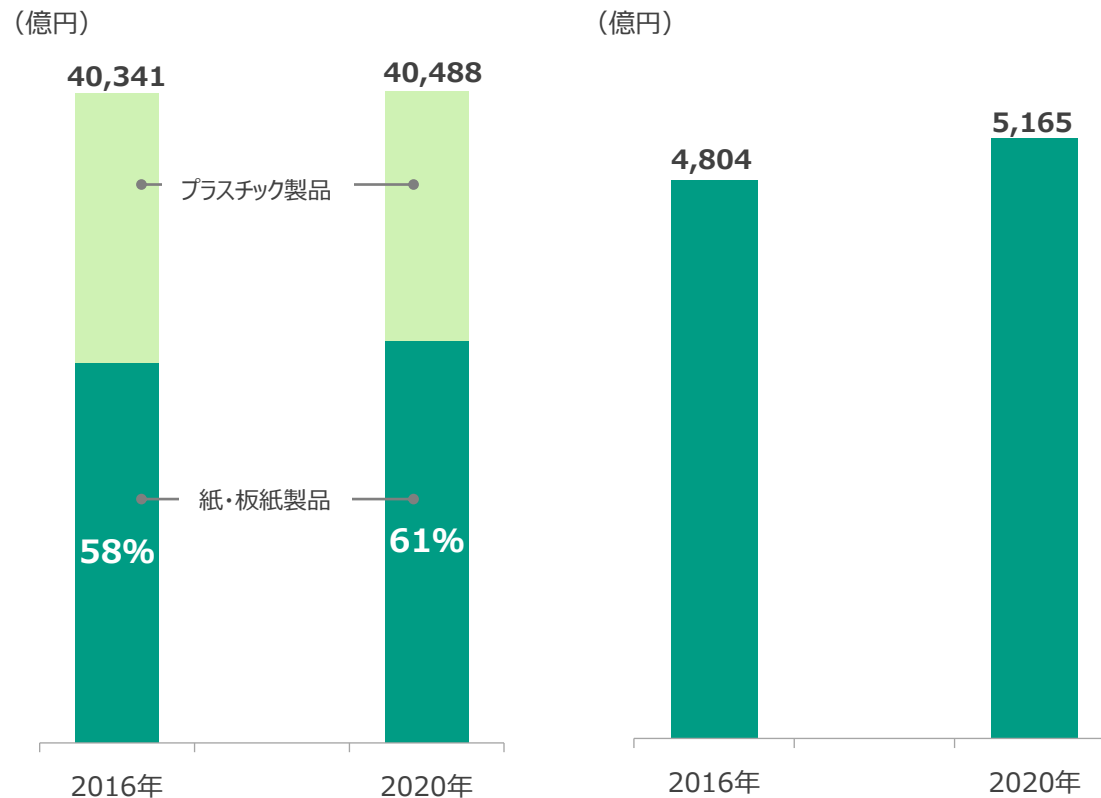
## 包装関連事業市場環境

【包装・容器】

【包装関連機械】

## 物流梱包関連事業市場環境

【宅配便等取扱個数の推移】

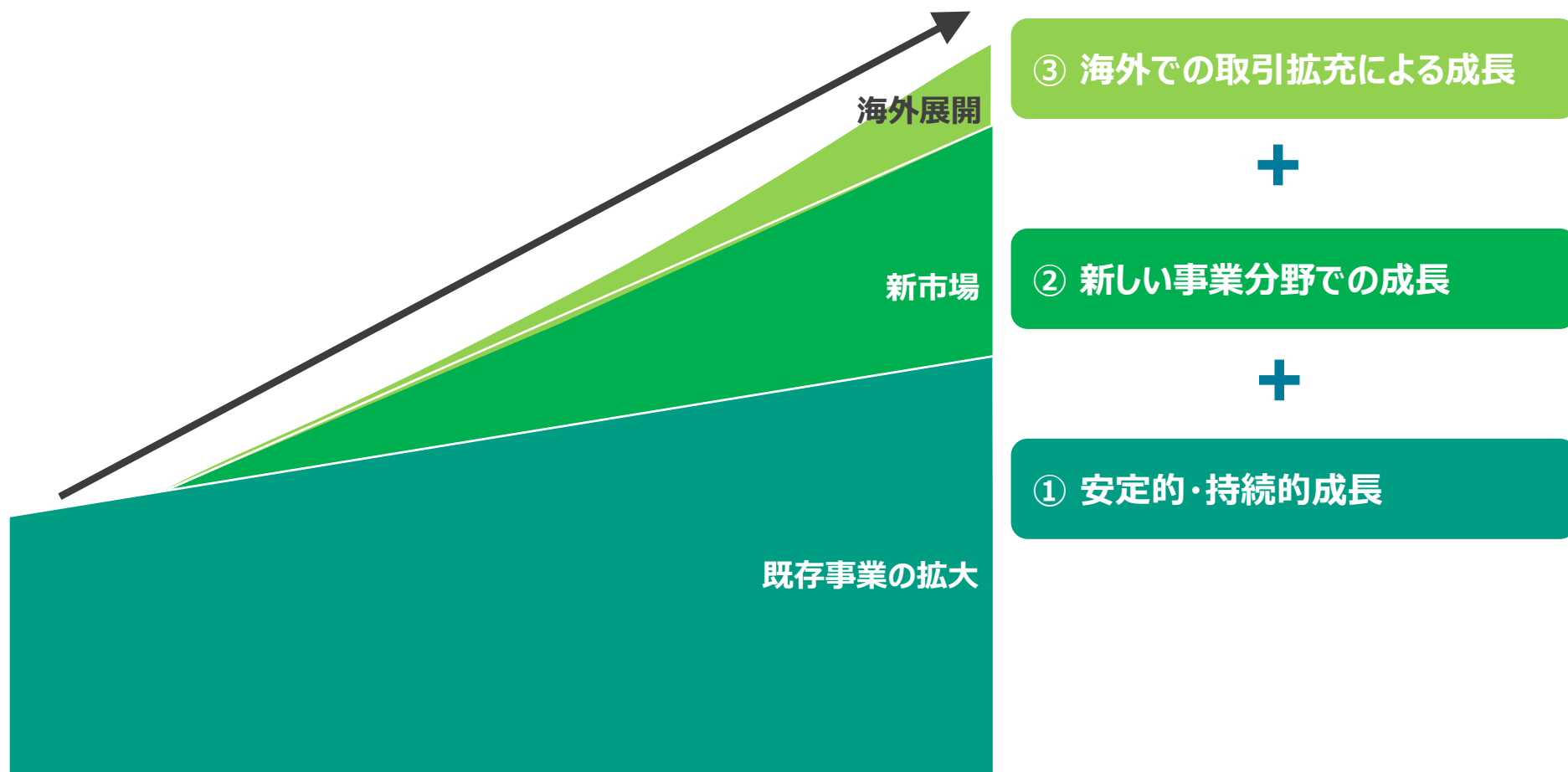


出所：日本包装技術協会「2020年日本の包装産業出荷統計」

出所：国土交通省「宅配便等取扱個数の調査」

## 今後の売上・成長イメージ

既存事業のみならず、新市場分野の開拓を行い持続的な成長を目指す



# 既存事業の深耕

## 販路拡大・高付加価値製品による包装資材の単価向上

### 西日本エリアの売上高拡大

販売店との業務提携やM&Aも視野

200億円

包装関連事業市場規模

41億円

包装関連事業  
2020/10期  
売上高

出所：帝国データバンクの情報に基づき、米穀を取り扱う企業の売上高情報と当社が独自に推定した数値により算出し米穀包装資材・機械の市場規模を計算

### 高単価機能包材の拡販

世界初のチャック付  
サイドガゼットロール



さまざまな規格（サイズ・材質）の袋  
の型替えが簡単

オリジナル米袋



設計からデザイン、企画  
までトータルプロデュース

### 環境配慮型製品の拡販

#### バイオマス素材を30%使用した業務用米袋

環境配慮型の米袋は、温室効果ガス削減につながることから環境問題に取り組んでいる企業などで導入が進んでいる

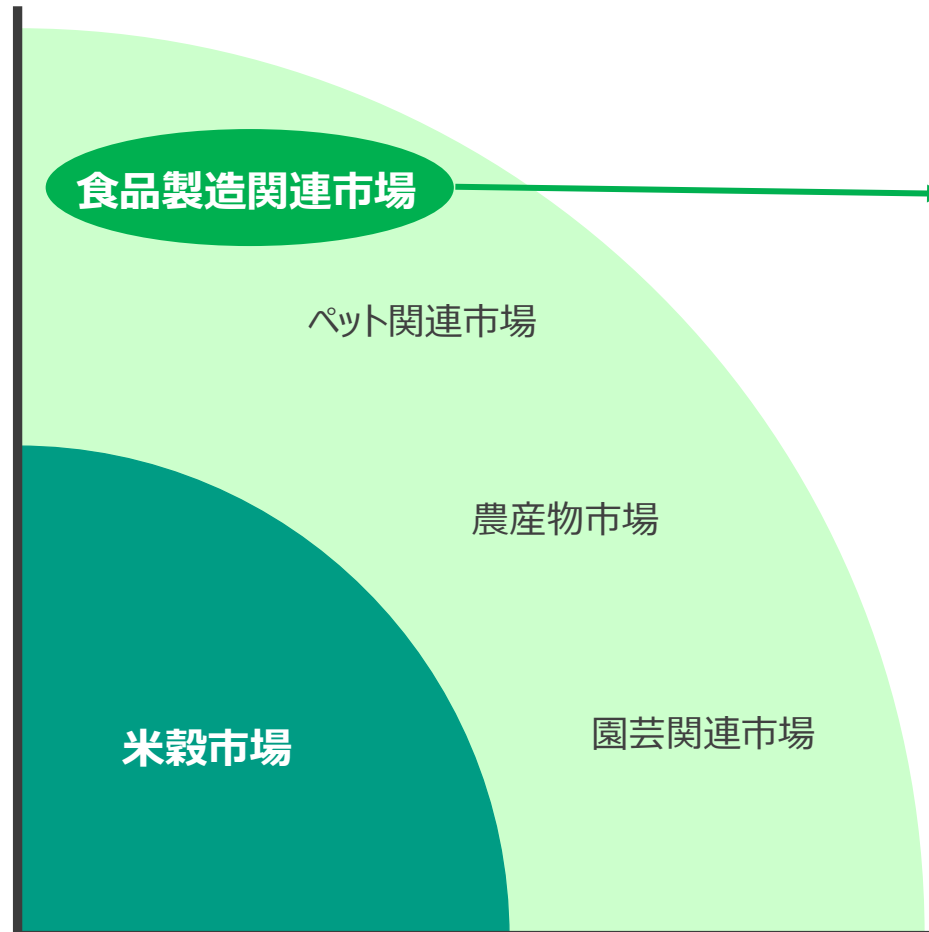
#### プラスチック削減製品

PLASTONE

プラスチックに炭酸カルシウムなど無機物を約30%配合し作られた、紙でもバイオでもない、石灰石原料を使用した新しい米袋

# 新市場分野への展開

粒状物包装を長年手掛けてきたノウハウを米穀以外の新市場に横展開



## 製造業の工場間輸送

袋詰めに当社製  
品採用



## 菓子製造ラインの仮取り作業例

- ①チェック
- ②重さを測る
- ③梱包作業  
がボタン一つで完了



さまざまな規格（サイズ・素材）の商品を容易に  
型替えでき充填包装までの作業工程の短縮メリット

# 物流梱包事業の拡充

成長するEC市場を背景に売上拡大を目指す

海外の優れた物流梱包機械・  
資材の発掘

梱包出荷ニーズに  
ワンストップで対応

充実したアフターケア

## ソリューションサービスの推進

販売後も顧客と接点を持つことで、顧客の様々なニーズ  
(省スペース化、作業効率を上げたいなど) に対応

EC  
関連会社

梱包荷造り機械・資材の拡販

## 紙素材を通じて「脱プラスチック」を推進

### 紙緩衝材自動製造機

1層クラフト紙から3次元クッションを製造



### ガムテープ繰出し機



自動ガムテープ繰出し機



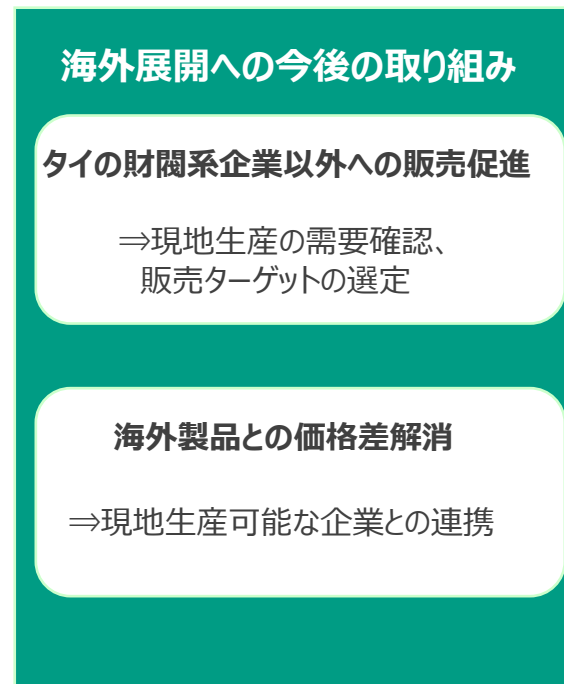
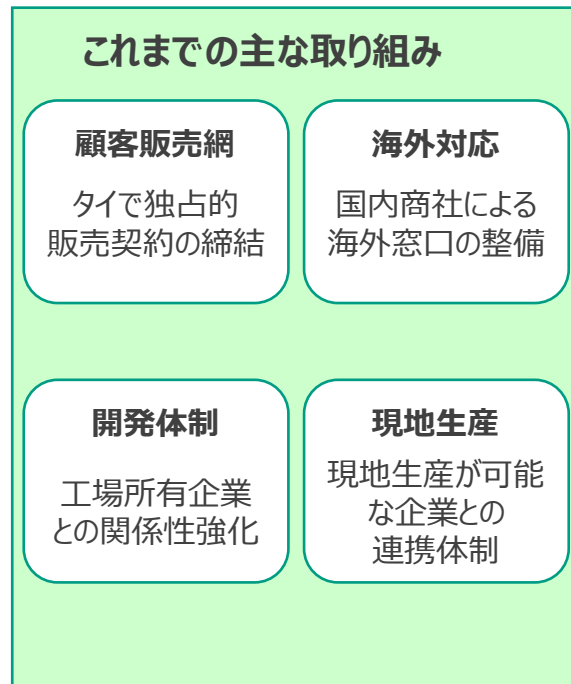
重ね貼りやリサイクル  
可能なガムテープ

## 海外展開

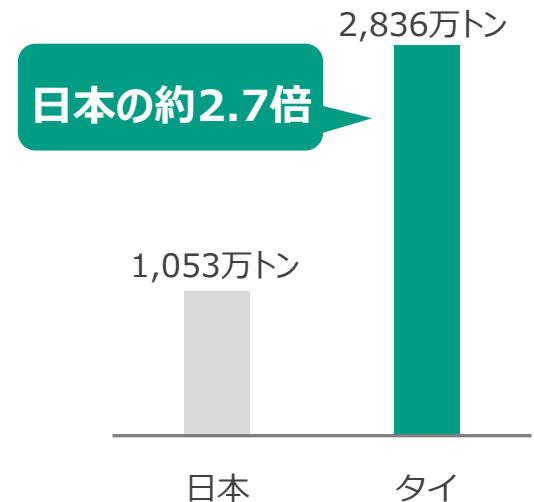
## 市場の大きなタイ向けの取り組みに着手



タイの財閥系企業に  
販売実績あり



【米の生産量】



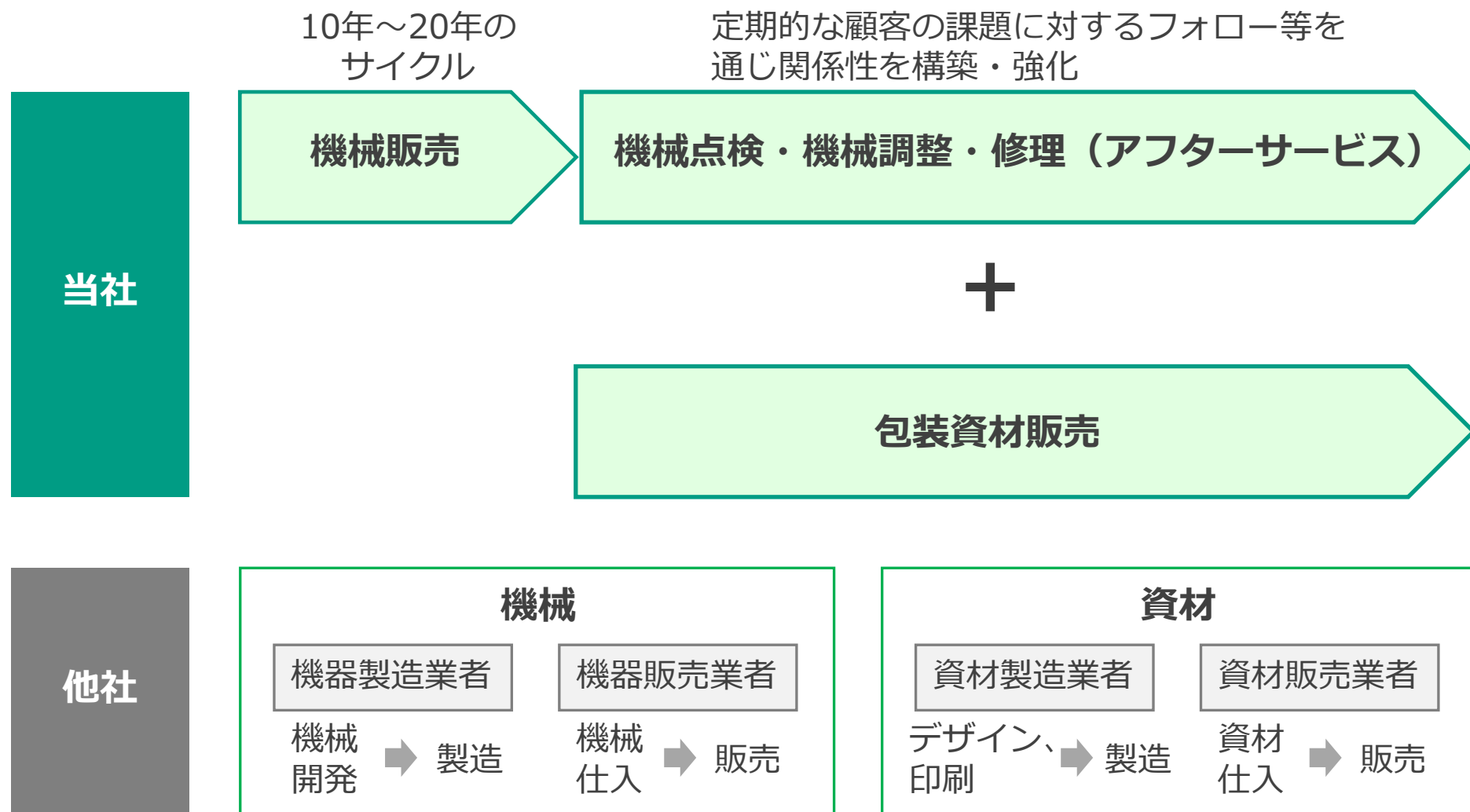
※出所：国連 FAOSTAT2019年の値  
生産量は「もみ」の重さ。日本の生産量の統計  
は玄米の重さで表されていますが、国連の  
統計では「もみ」の重さが使われています。

# V その他

---

# 当社の特徴：独自性

包装機械と包装資材をワンストップで提供





# 当社の特徴：米穀業界を中心とした盤石な顧客基盤

設立以来積み上げてきた米穀業界を中心とした約2,700社の顧客基盤



大手精米卸販売会社



米穀製品専門の商社



農業協同組合



量販店



小売・スーパー



コンビニ



デパート ……など

## 外食関連

### 大手外食チェーン

牛丼



とんかつ



寿司



カレー



ファミリーレストラン



## E C 関連



大手外資系通販会社

運輸系印刷会社

OA機器専門商社

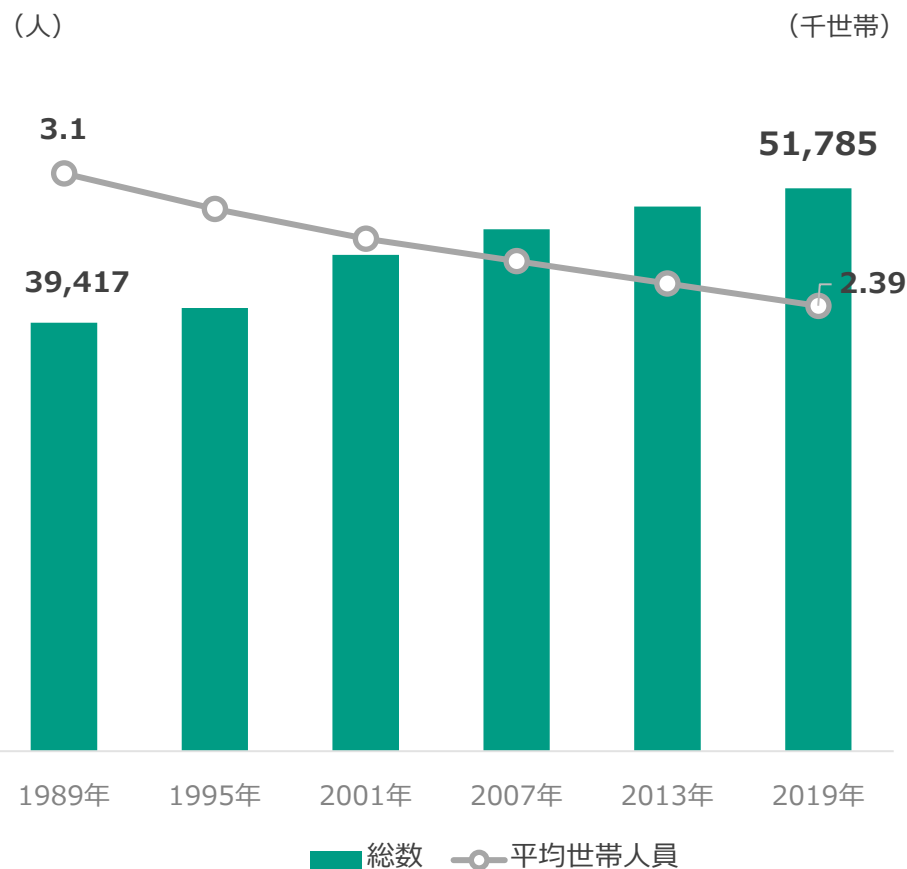
工具系通販会社

……など

## 市場環境 包装関連事業

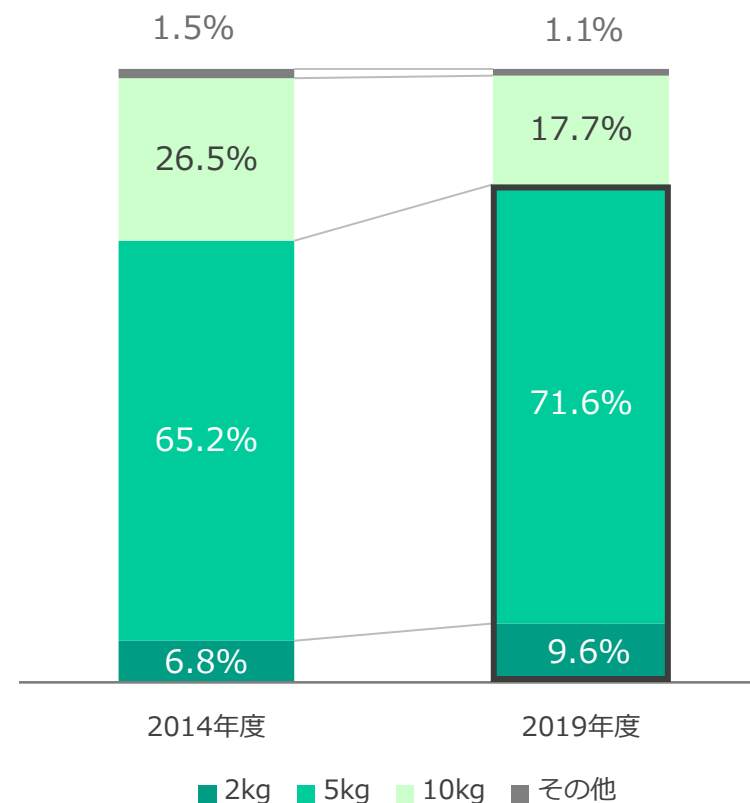
## 核家族化の進展により2kg・5kgの包装袋の割合が増加

【世帯数推移】



出所：厚生労働省「2019年民生活基礎調査の概況」

【包装容量別販売割合】

出所：公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構「POS情報」  
※2019年全国計はデータの制約上、2019年1月、2月の平均値

## 本資料の取扱いについて

- 本資料は、のむら産業(株)の業績動向及び事業内容について、のむら産業(株)による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。
- これらの将来の展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。様々な要因により、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- のむら産業(株)の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来の展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料開示時点（2021年12月24日現在）において利用可能な情報に基づいてのむら産業(株)によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

### 【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

のむら産業株式会社 管理部

TEL : 042-497-6191

Web : <https://www.nomurasangyo.co.jp/>

Mail : [ir@nomurasangyo.co.jp](mailto:ir@nomurasangyo.co.jp)



のむら産業株式会社

---

〒203-0032 東京都東久留米市前沢5丁目32番23号

URL <https://www.nomurasangyo.co.jp/>